

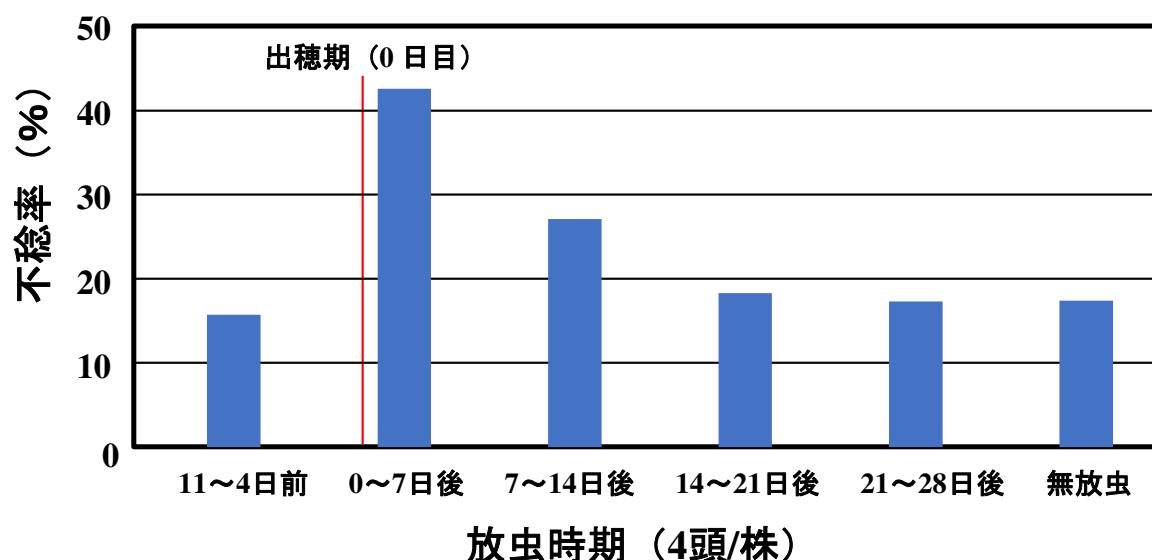
イネカメムシによる登熟・品質への影響

農林水産研究所

近年、問題となっているイネカメムシの防除適期を検討するため、イネカメムシの加害による不稔と斑点米の発生時期を調査しました。



イネカメムシの加害による不稔発生程度への影響



試験の様子



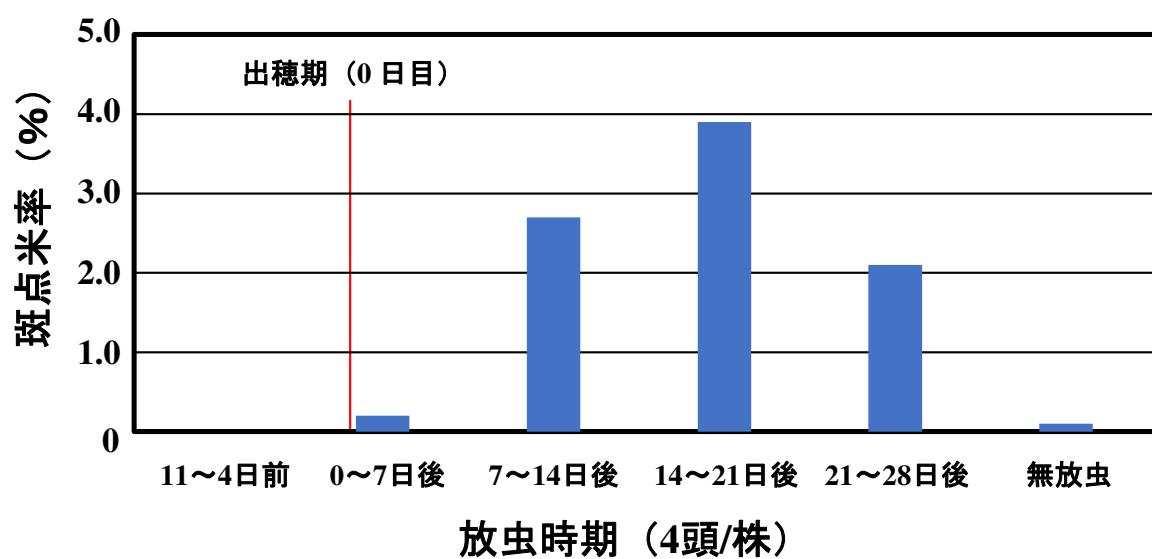
傾穂(通常)



直立穂(不稔)

○不稔被害の主な発生時期は、0~7日後、7~14日後

イネカメムシの加害による斑点米発生程度への影響



玄米



斑点米

○斑点米被害の主な発生時期は、7~14日後、14~21日後、21~28日後

以上の結果から、不稔被害を抑えるためには出穂0~7日後の防除、斑点米被害を抑えるためには出穂7~28日後の防除が重要です。